

平成25年度

第2回五城目町地域公共交通協議会 会議録

【会議の日時・場所】

日 時 平成26年1月22日(水) 午後2時00分より
場 所 五城目町役場 2階 正庁

【協議案件等】

- 報告 (1) 乗合タクシー馬場目線と富津内線の運行実績(7~11月)について
(2) 乗合タクシー内川線と面潟線の運行実績(7~11月)について
(3) アンケート調査(内川エリア・森山エリア)の結果報告について
(4) 面潟線バス路線の代替交通に係る2者(八郎潟町・五城目町)会議結果について
(5) 平成26年度のスクールバス運行計画(予定)について
- 協議 (1) 公共交通空白地域の解消について
・新しい公共交通システムの構築について検討する。
(2) 平成25年度五城目町地域公共交通協議会補正予算(第1号)について
(3) 平成26年度事業実施計画(案)について
(4) 平成26年度五城目町地域公共交通協議会予算について

【出欠状況】

出席委員	別紙「委員出欠表」のとおり	25名
欠席委員	別紙「委員出欠表」のとおり	5名
事務局	別紙「委員出欠表」のとおり	4名

【会議の内容・発言要旨】

午後 2時00分開会

○事務局(小玉まちづくり課長)

只今より平成25年度 第2回五城目町地域公共交通協議会を開会いたします。
開会に先立ち、武田会長があいさつを申し上げます。

○副町長

本日は、ご多用中のところご出席していただき誠にありがとうございます。

乗合タクシーにつきましては、6年近く運行を行ってききましたが、事故もなく運行が行われておりますことに感謝いたします。残る公共交通の空白地域の解消につきましては、

本協議会におきまして、いろいろなご意見、ご協議をよろしくお願いいたします。

○事務局（小玉まちづくり課長）

会議の進行について協議会規約により武田会長よりお願いいたします。

○武田会長

さっそく議事に入らせていただきます。議事に入る前に会議録署名員を選任いたします。どのように取り計らったらよろしいでしょうか。

○委員全員

（会長一任）

○武田会長

会長一任の発言がありましたので、私の方から指名させていただいてもよいですか。

○委員全員

（異議なし）

○武田会長

異議なしの声がありましたので、私の方から指名させていただきます。

本日の会議録署名員に、五城目地区町内会長会 猿田由男委員と、湖東タクシー有限会社北嶋透志雄委員の2名を指名いたします。よろしくお願いいたします。

それでは、次第に従いまして進めていきたいと思えます。まず、報告事項ですが、事務局より報告事項（1）乗合タクシー馬場目線と富津内線の運行実績（7～11月）についてお願いいたします。

○事務局（大石）

本日配布の会議の資料確認後、報告（1）乗合タクシー馬場目線と富津内線の運行実績（7～11月）について説明。（資料・スライドにより説。なお、スライドは12月分も含めた実績で説明した。）

○武田会長

（1）について、何か質問はありませんか。

○委員全員

（特になし）

○武田会長

次の報告（2）～（4）について関連するので一括して報告願います。

○事務局（大石）

報告（２）～（４）について説明。（資料・スライドにより説明。なお、報告（２）のスライドは、１２月分も含めた実績で説明した。）

○武田会長

ありがとうございました。何か質問はありませんか。

○委員全員

（特になし）

○武田会長

なければ次に進みたいと思います。次に、（５）についてお願いします。

○事務局（大石）

報告（５）について説明。（資料により説明）

○武田会長

ありがとうございました。何かご質問はありませんか。県交通政策課高橋委員。

○高橋委員（交通政策課）

スクールバスの車両について、自前の中型バスについては小学校で使っているということですか。

○事務局（大石）

はいそうです。五城目小学校の森山地区のスクールバスとして使用しています。

○高橋委員（交通政策課）

県議会でもスクールバス車両の話があり、朝夕はよいが、日中の有効活用として一般の人の足としても使ったらいいのではとか、町内だけでなく、隣町との連携等なども考えるべきではないかなどの意見があります。町同士の協議連携について、県でも進めていきたいと考えているところです。

○事務局（大石）

当町の場合、自前（リース車）の中型バスはもともと教育委員会の研修バスですので、日中の時間は、本来の目的である学校の課外学習や空いた時間で町の行事等に利用しております。なお、事業者へ車両も含め委託しているスクールバスの車両については、日中は路線バス業務に利用しているとのことでした。

他町村への公共交通については、町から秋田市などの病院へ出かける際の重要なライン

と捉えているので、現状の八郎潟線バス路線、五城目線バス路線も含めて、八郎潟町や井川町と連絡を取りながら考えないといけないと思っっているところです。

○高橋委員（交通政策課）

わかりました。

○武田会長

ほかに何か質問はありませんか。

○長谷川委員（五城目商店会）

アンケートの状況説明で終わっていますが、これからどのようにしていくのか、なにが必要なのか、細部についてのアンケートが必要なのではないのでしょうか。また、満足度については、乗っている人は満足と答えると思います。むしろ、問題は乗っていない人なので、この辺を考慮しアンケートの内容・項目をもっと工夫すべきだと考えます。

また、町全体としてどのように公共交通を考えていくか、考え方をしっかり持たなければならぬと考えます。

○事務局（大石）

アンケートの項目・内容については、非常に難しい部分がありますので今後も実施する場合にはよく検討してまいりたいと思います。また、町全体の方向性については、五城目町地域公共交通総合連携計画（今現在は、第2次：H23.10月～H26.9月）があり、これに基づいて実施しております。丁度来年度は、第3次の計画を策定することになっておりますので、今までのご意見にプラスしてあらためてご意見を伺って参りたいと考えております。

○武田会長

連携計画も間近にせまっております。周辺町村との連携など今後協議を重ねていきたいと思っます。ほかに何か質問はありませんか。

○猿田委員（五城目地区町内会長会）

スクールバスの運行について、五城目地区懇談会での意見をお話しします。遠距離に該当しない、つまりスクールバスで登下校を指定されていないぎりぎりの距離の方からの要望がありました。具体的には、中川原・新里町からの要望です。両町内は遠距離通学区域ではありませんが、冬季の通学に大変難儀しているということです。スクールバスを利用できないかというものであります。一応、この場でご報告しておきます。

○武田会長

これに対して、学校教育課長の回答を求めます。

○事務局（石川学校教育課長）

スクールバス運行については、ただ単に学校からの距離でくくった遠距離の児童生徒だけでなく、一部には危険な場所等の通学路の状況も加味して対象となる町内を設定しております。通学路における事情は現場を見ながら対処していきたいと思います。今回、お話のあった2つの町内についても、今後状況を見ながら判断していきたいと考えております。

○武田会長

他になければ、協議事項に入らせていただきます。

協議（1）公共交通空白地域の解消について、事務局より説明願います。

○事務局（大石）

協議（1）について説明。（資料・スライドにより説明）当公共交通空白地域の解消については、関係者の合意の基に町地域公共交通総合連携計画で目標としてかかげられております。今年度は、利用者となる住民及び、事業者から個別にご意見をお伺いしてきました。加えて、本協議会で内容をご報告しながら協議を重ねてきております。出されているそれぞれの意見を総括するに、本日の協議を経て、次回には具体的な公共交通システムの案をご提案させていただきたいと考えています。

○武田会長

みなさんからのご意見を賜りたいと思います。大川地区町内会長会の加藤委員何かありませんか。

○加藤委員（大川地区町内会長会）

大川の集落の方は、家庭の自家用車等の利用で主に生活の足をまかなっております。今後自分たちも年老いてきて、新しい公共交通をどうするかというと難しいので、行政の方で提案してもらいたいです。

○武田会長

五城目町老人クラブ会長の伊藤委員いかがですか。

○伊藤委員（町老人クラブ会長）

大川本村はバスがあり、各家庭には自家用車のある家が多いと思います。住民の声をもう少し聞いた方がよいのではないのでしょうか。ちなみに、空白地域は大川だけですか。

○事務局（大石）

（スライドで説明）以上のように、主に五城目線バス路線が運行する大川の本村を除く大川地区のみとなっています。

○伊藤委員（町老人クラブ会長）

五城目町の人がなぜ乗合タクシーを利用するのか、その目的は何なのかということ、アンケートを実施して把握した方がよいのではないのでしょうか。井川町では買い物バス（無料）があるようですが、五城目ではどうなのか。空白地帯であれば生活はどうなるのかなども聞いてみた方がよいのではないのでしょうか。

○事務局（大石）

アンケートは度々実施されており、どこの地区においても利用目的は、病院・買い物が主で、割合として全体の80%を占めています。また、今年度の大川地区へのアンケート及び座談会の意見をみれば、確かに大川地区では昔からバスが運行されていなかったというのが当たり前であったせいからか、あまり公共交通の利用者がいないようです。しかし、社会情勢の変化にともなって、一人暮らしが増えており、また、今は運転できるが今後運転ができなくなった時のことを心配・不安に思っている方々も多いようです。

○武田会長

ほかにありませんか。ないようですので、この件については引き続き検討していきたいと思いますがよろしいでしょうか。

○委員全員

（異議なし）

○武田会長

それでは協議（1）公共交通空白地帯の解消については、継続審議とします。

つぎに協議（2）平成25年度五城目町地域公共交通協議会補正予算（第1号）について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（大石）

協議（2）について説明。（資料により説明）

○武田会長

精算見込みによる補正です。何か質問はありませんか。なければ承認されたものと見なします。

○委員全員

（異議なし）

○武田会長

それでは協議（2）平成25年度五城目町地域公共交通協議会補正予算（第1号）については、承認されたものとします。

つぎに協議（3）平成26年度事業実施計画（案）について、事務局より説明をお願い

します。

○事務局（大石）

協議（３）について説明。（資料により説明）

○武田会長

なにかご質問ございませんか。富津内地区町内会長会の原田委員どうですか。

○原田委員（富津内地区町内会長会）

特にありませんが、乗合タクシー富津内線についても道の駅が拠点施設として利用できるのは、非常によいことだと思います。

○武田会長

ほかにありませんか。

以前の協議会で乗合タクシー面瀉線の名称について、森山線とすべきとご意見がございましたが、森山地区町内会長会の伊藤委員どうでしょうか。

○伊藤委員（森山地区町内会長会）

もとは、面瀉村であったのですが、現在は森山地区となっているので、現在にあった名称にしてもらいたい。

○伊藤委員（町身体障害者協会会長）

私も、森山エリアと同じ路線名も森山線でよいのではないかと思います。

○武田会長

わかりました。ほかになにかありませんか。

○委員全員

（特になし）

○武田会長

それでは、森山エリアの乗合タクシーの名称を「乗合タクシー面瀉線」から「乗合タクシー森山線」として事務局案を修正し、承認してもよろしいでしょうか。

○委員全員

（異議なし）

○武田会長

それでは協議（３）平成２６年度事業実施計画（案）については、事務局案を一部修正

のうえ承認されたものとします。

つぎに協議（４）平成２６年度五城目町地域公共交通協議会予算について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（大石）

協議（４）について説明。（資料により説明）

○武田会長

なにか質問ございませんか。なければ承認とさせていただきます。

○委員全員

（異議なし）

○武田会長

それでは協議（４）平成２６年度五城目町地域公共交通協議会予算については、承認されたものとします。

つぎに協議（５）その他について何かありませんか。

○委員全員

（特になし）

○武田会長

それでは、その他について事務局よりお願いいたします。

○事務局（大石）

現在の委員の任期が平成２６年３月となっております。次回の協議会の開催にあたっては、委員の委嘱のしなおしをする必要があります。また、連携計画の策定年度にもなっておりますので、上半期を使ってその協議をしまいたいと思っておりますが、住民負担を考えるとあらためて住民へのアンケート調査は控え、今までに出されている意見、例えば毎年３月に実施している各町内での懇談会などの意見などを参考に、事務局案を作成をしまいたいと考えております。どうかその際は、ご意見を賜りたいと考えております。

なお、次回の開催は５月の監査会が終了した後を目途に開催したいと思っております。

○武田会長

ほかに何かありませんか。県交通政策課高橋委員。

○高橋委員（交通政策課）

秋田県では、２月５日（水）に秋田県地域公共交通シンポジウムを開催する予定です。詳しくは、本日チラシを配布しておりますのでそちらの方をご確認ください。

○事務局（大石）

私も参加いたしますので、参加したいという方がおりましたら、ご連絡いただければ送迎もいたします。

○武田会長

そのほか何かありませんか。

○委員全員

（特になし）

○武田会長

それでは、協議はすべて終了いたしました。ありがとうございました。

以上をもちまして、平成25年度第2回五城目町地域公共交通協議会を終了いたします。ご苦勞様でした。

午後3時35分閉会

会議録署名員

（ 猿 田 由 男 ）

猿 田 由 男 

会議録署名員

（ 北 嶋 透 志 雄 ）

北 嶋 透 志 雄 